

修士論文に向けて

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻

M2012MM002

朝倉知也

シナリオ

- 研究概要
- 関連研究:OSLC
- 前回の疑問:TRS
- 変更要求モデル
- 優先度, 重要度, 緊急度
- 今後の課題
- 参考文献

研究概要

- 題目

- OSLC[1]に基づくソフトウェア変更要求管理方法の提案

- 背景

- ソフトウェアの大規模化, グローバルソフトウェア開発(GSD:Global Software Development)の進展

⇒全開発工程で発生するソフトウェア変更要求の管理が困難

- 着目する課題と解決法

- 統一的な変更要求の表現が存在せず, 様々な表現が混在
- ⇒変更要求モデルの定義

- Webを介した管理方法が未確立

⇒変更要求モデルをOSLCに基づき管理

- 期待効果

- 大規模GSDにおける変更要求の統一的な管理

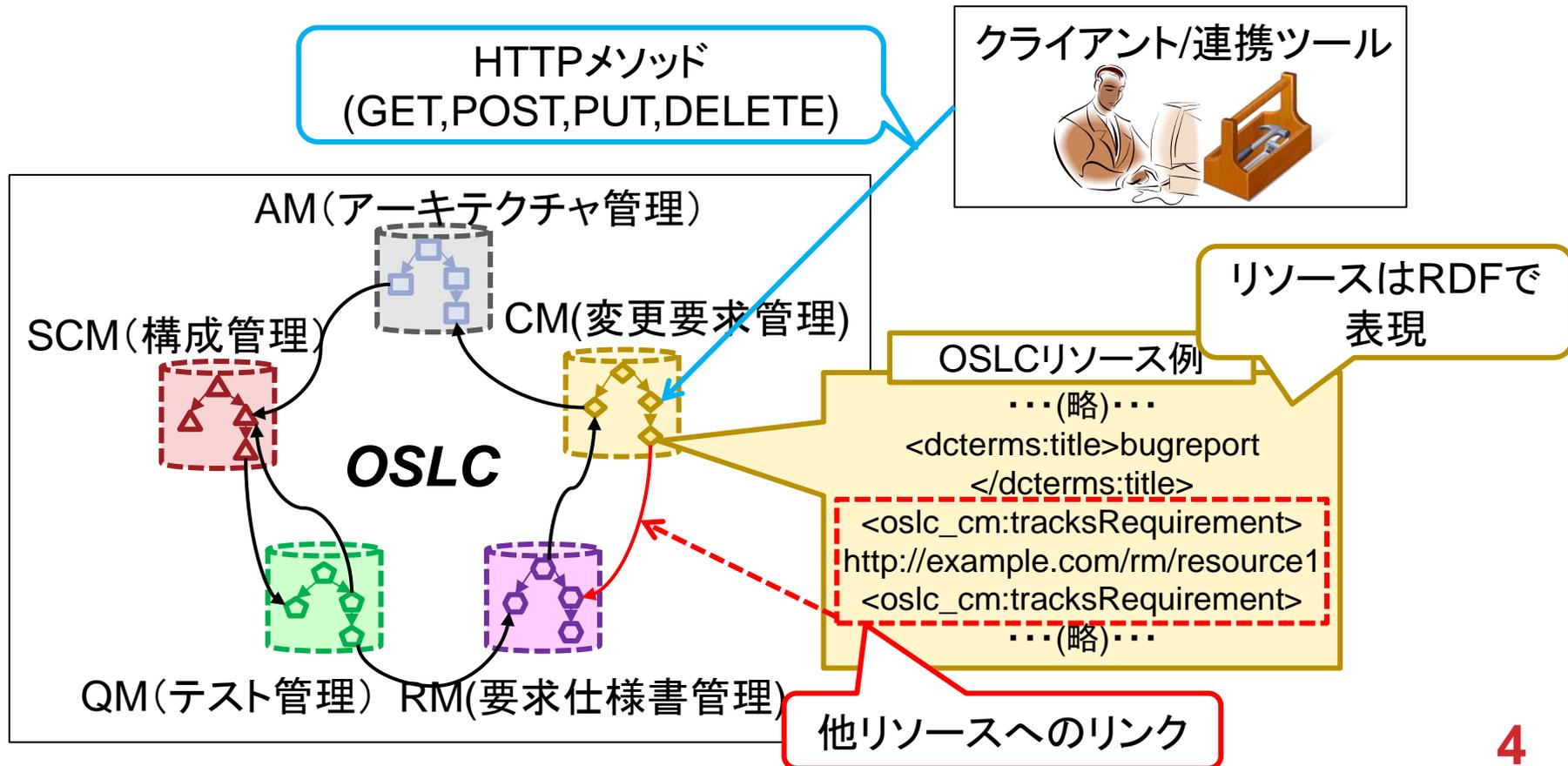
- 変更要求に対するトレーサビリティの確保, 影響範囲の明確化

[1]OSLC(Open Services for Lifecycle Collaboration),<http://open-services.net/html/Home.html>

OSLC (Open Services for Lifecycle Collaboration)

- OSLC概要

- Webを介したツール連携を実現するための統合基盤
- RESTfullに基づく



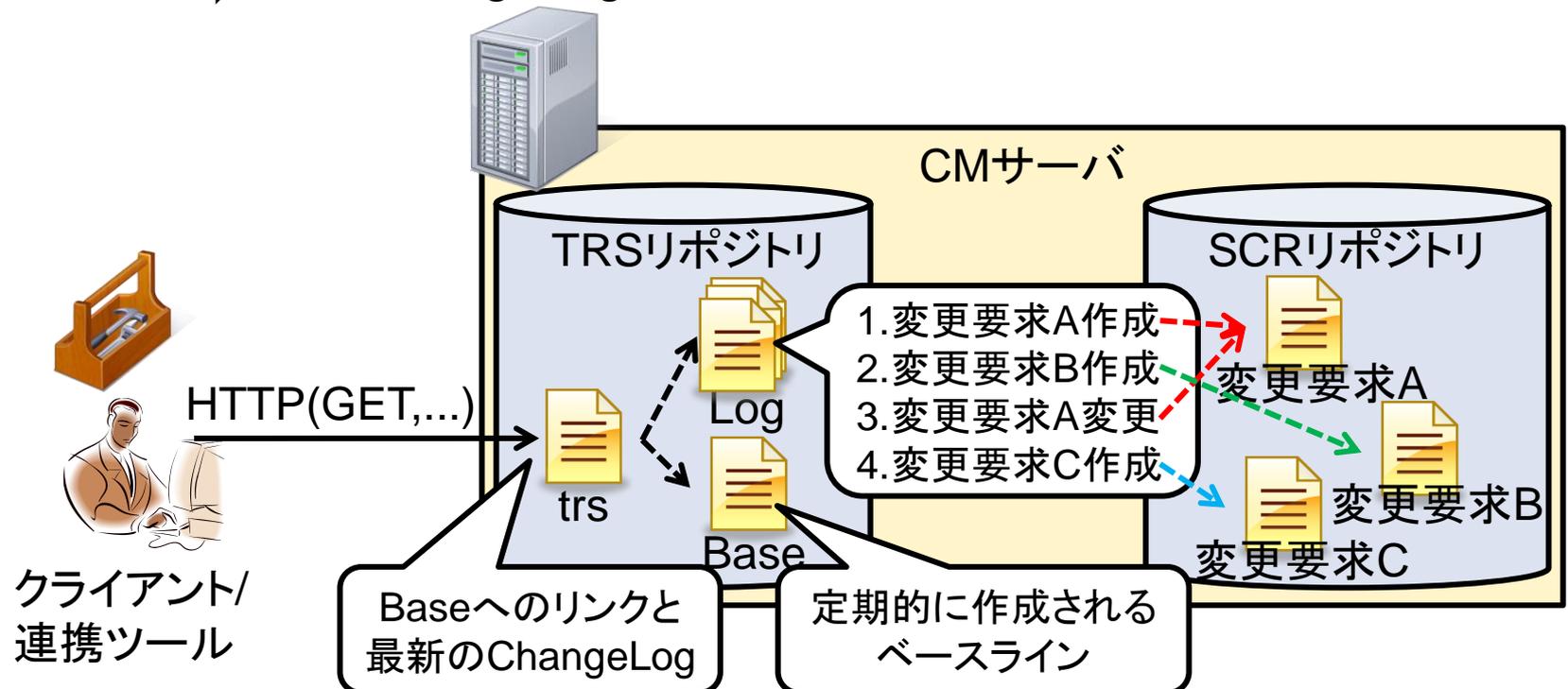
前回の疑問

- TRS(Tracked Resource Set)

- 対象(リソースリポジトリ)を管理する**方法・仕様**

- ✓ 管理対象のリソースは仕様外

- ➡
- TRSサーバで管理：**ChangeLogとBase**
 - ChangeLogとBaseから対象リポジトリのリソースへリンク

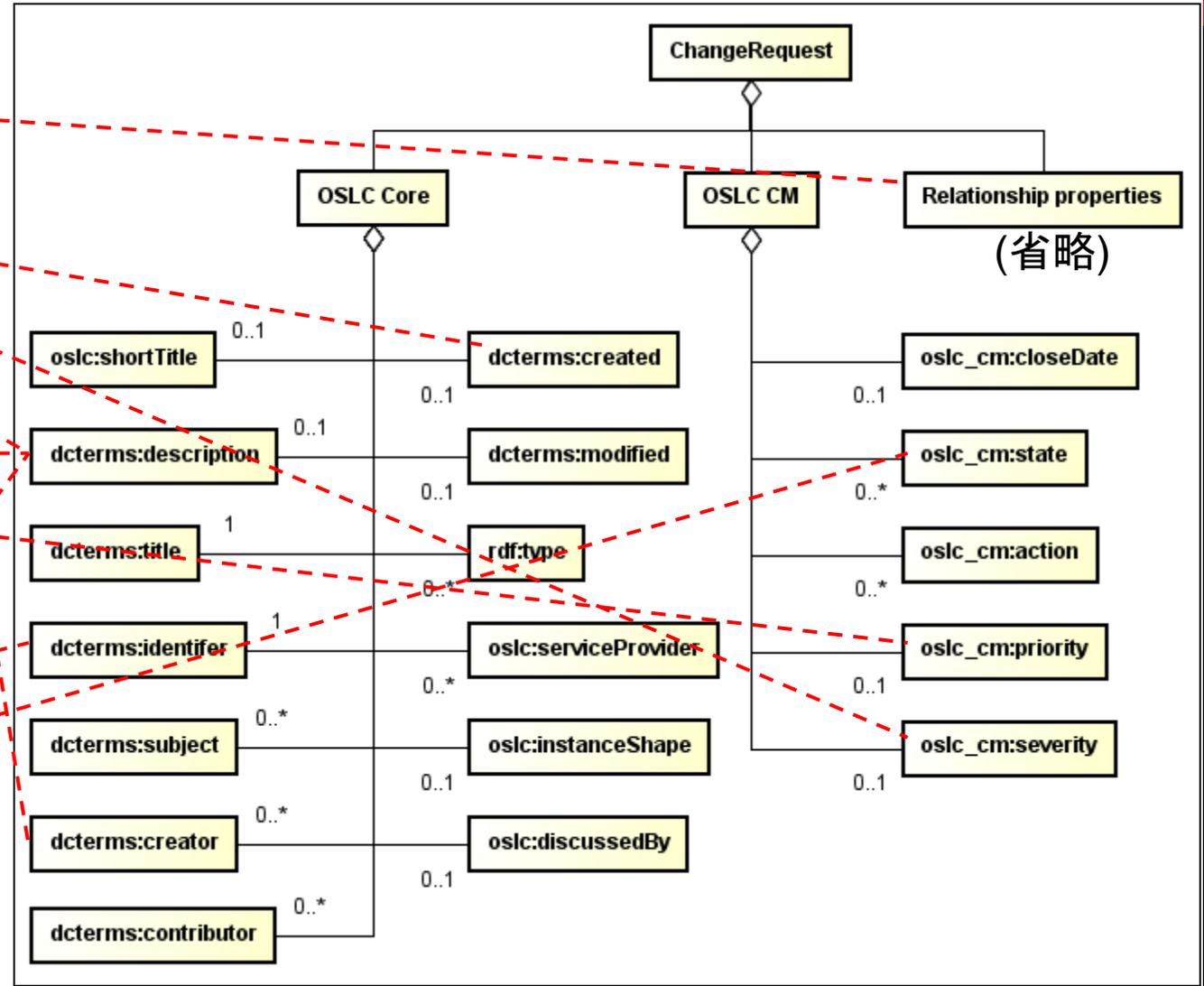


変更要求モデル(前回)

IEEE Std. 828-2005

OSLC ChangeRequest Model (spec 3.0)

要素
対象リソース
作成者
作成日
緊急性
必要性
説明
優先度
分類
変更要求の番号
変更要求の状態

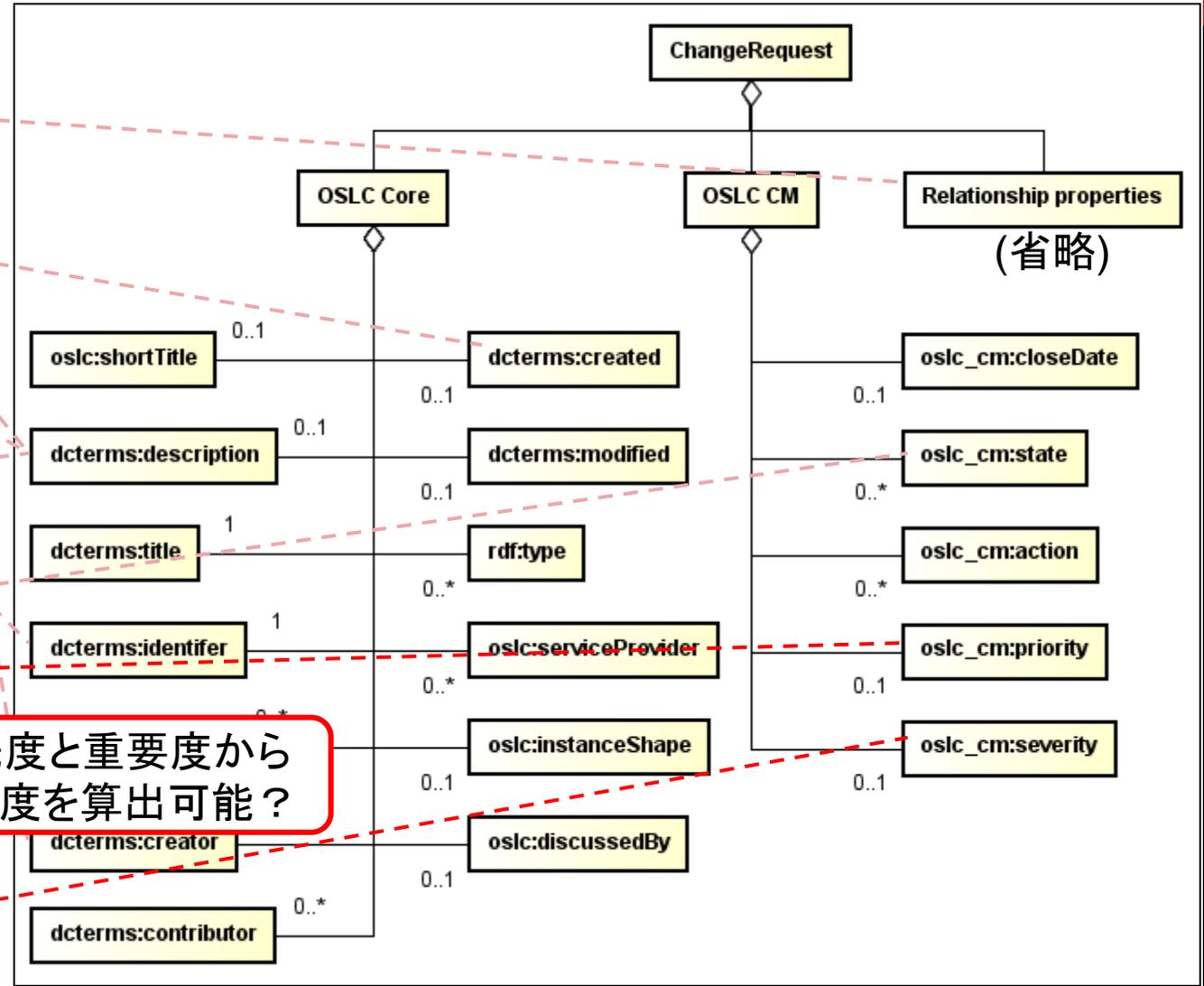


優先度, 重要度, 緊急度(1/2)

IEEE Std. 828-2005

OSLC ChangeRequest Model (spec 3.0)

要素
対象リソース
作成者
作成日
必要性
説明
分類
変更要求の番号
変更要求の状態
優先度
緊急度
追加要素
重要度



優先度と重要度から緊急度を算出可能？

優先度, 重要度, 緊急度(2/2)

- 優先度(priority)と重要度(severity)

- 優先度: 変更要求の処理順を決定する指標

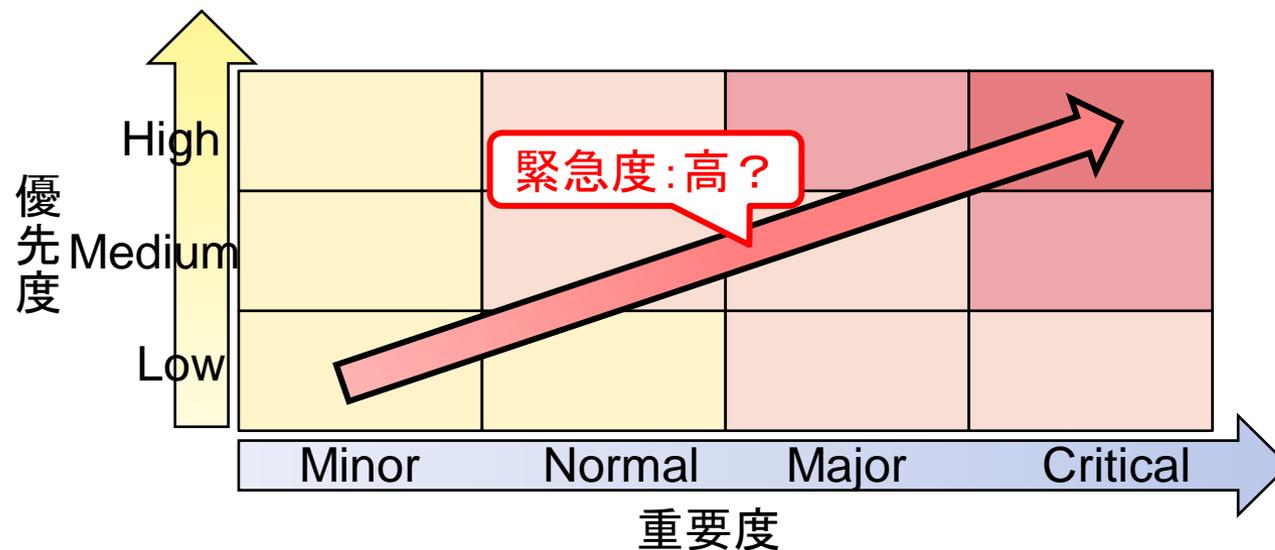
- ✓ OSLC_CMでは3段階(High, Medium, Low)

- 重要度: 変更要求の及ぼす影響

- ✓ OSLC_CMでは4段階(Critical, Major, Normal, Minor)

- 緊急度(urgency)

- 優先度が高い かつ 重要度が高い ⇒ 緊急度が高い?



今後の予定

1. 研究の見直し

- ✓ 背景, 技術的課題, 期待効果をもう一度再考

2. モデルの検討

- ✓ プロパティのマッピング, 緊急性の検討, ...

3. 中間発表に向けて

3.1 予稿目次案

3.2 予稿執筆

3.3 発表資料作成

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
(1),(2),			(1),(2),(3.1)			
8	9	10	11	12	13	14
(2),(3.2),(3.3)				合宿		
15	16	17	18	19	20	21
(2),(3.2),(3.3)						
22	23	24	25	26	27	28
(3.2),(3.3)						

参考文献

- Project Management Institute, プロジェクトマネジメント知識体系ガイド, 第4版, PMI, 2008.
- IEEE Std. 828-2005, IEEE Standard for Software Configuration Management Plans, IEEE, 2005.
- IEEE Computer Society, Software Engineering Body of Knowledge (SWEBOK), 2013, <http://www.computer.org/portal/web/swebok> .
- OSLC-CM, Open Services for Lifecycle Collaboration – Change Management, February 28, 2013, <http://open-services.net/wiki/change-management/> .
- OSLC-TRS, Open Services for Lifecycle Collaboration – TrackedResourceSet, June 27, 2013, <http://open-services.net/wiki/core/TrackedResourceSet-2.0/> .

修士論文に向けて END

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻

M2012MM002

朝倉知也